



第46期 中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで



株主の皆様へ

代表取締役社長

寺町 彰 博

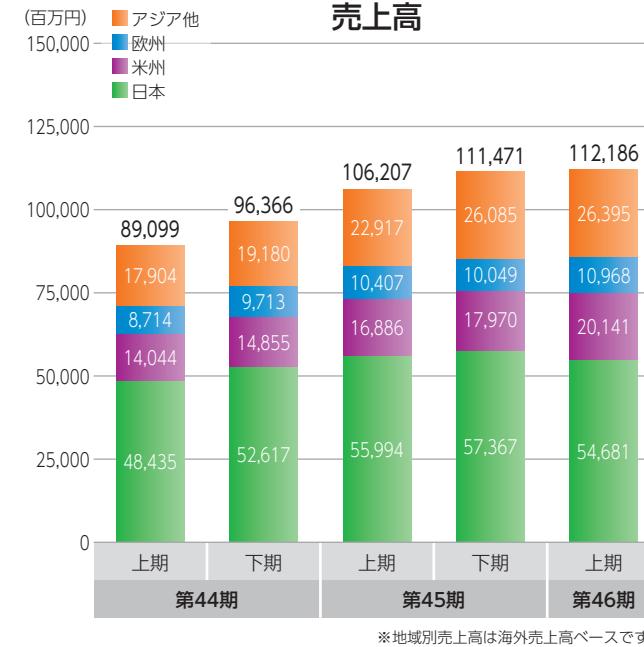


株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとする新興国の経済成長が鈍化した一方、欧米を中心とした先進国が牽引役となり世界経済は緩やかな回復が続きました。当社においては、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めたことに加え、為替が前年同期に比べて円安で推移したことなどにより、連結売上高は前年同期比5.6%増の1,121億円となりました。利益面では、売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めましたが、将来の成長に向けた投資に伴う固定費の増加や事業譲受に伴う取得関連費用の発生などにより、営業利益は前年同期比12.7%減の124億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比29.2%減の77億円となりました。足元では外部環境に不透明感が強まっておりますが、長

期的な戦略軸である「グローバル展開」と「新規分野への展開」に変わりはなく、これまで行ってきた中期的な施策を引き続き推進してまいります。しかしながら、外部環境の変化に対応すべく、短期的にはコストコントロールも状況を見ながら実施してまいります。加えて、当社グループは2015年8月31日にアメリカの自動車部品メーカーであるTRW Automotive Inc.（現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業）から欧州及び北米のL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受け、輸送用関連事業のさらなる拡大を目指しております。これらの取り組みの結果、当社の潜在成長力は着実に向上していると手応えを感じております。今後の需要の回復局面において必ずや売上・利益ともに伸ばし、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト



日本 ↓2%減

積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めましたが、スマートフォンなどに関わる投資に牽引されていた小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少したことなどにより、減収となりました。

欧州 ↑5%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、航空機や鉄道車両、家財、宇宙防衛関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、工作機械や一般機械向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

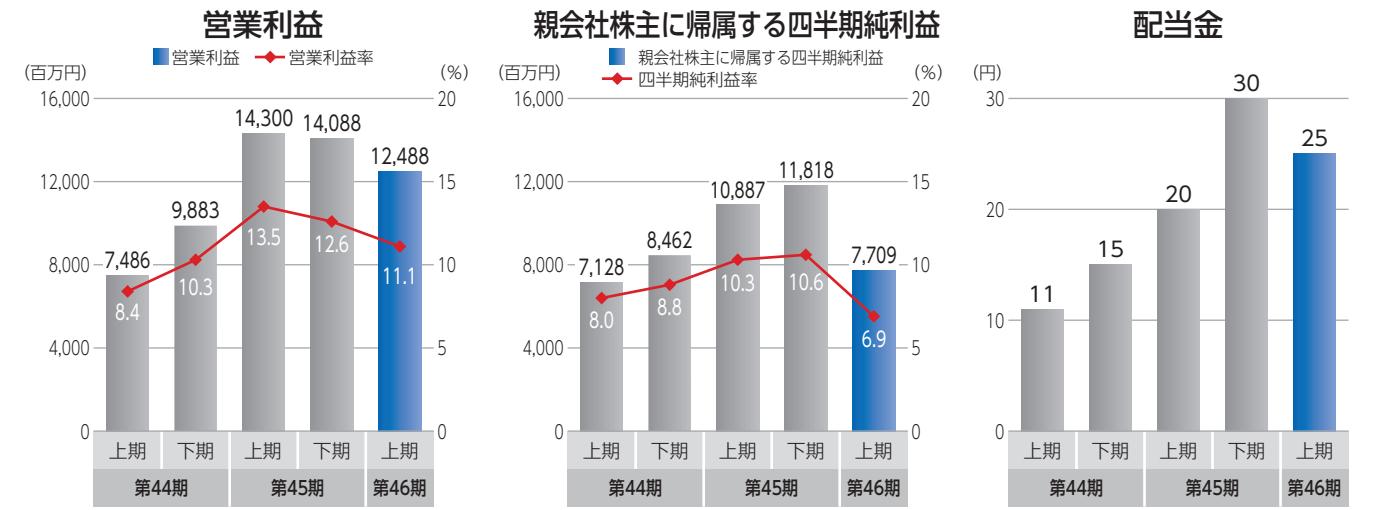
米州 ↑19%増

製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。それらの結果、一般機械や輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

アジア他 ↑15%増

工作機械を中心として需要が全般的に好調に推移する中、これまで拡充してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開したことなどにより、増収となりました。

※各地域の増減率は前年同期比です。

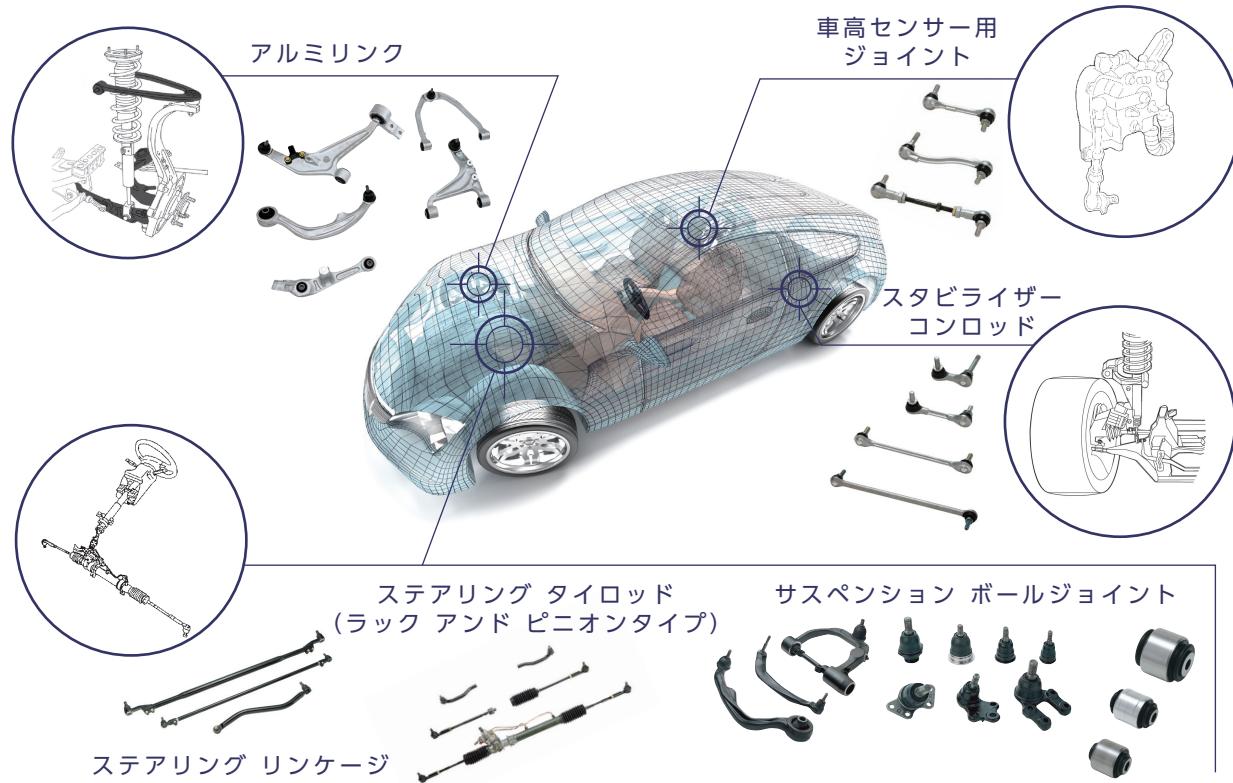


※当社グループは、2015年8月31日にTRW Automotive Inc.の欧州及び北米のL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受けました。第46期の連結業績予想への影響については確定次第、速やかに公表いたします。なお、第46期第2四半期は貸借対照表のみを連結しており、連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

TRW Automotive Inc.からのL&S事業の譲受

THKは、2015年8月31日、アメリカの自動車部品メーカーであるTRW Automotive Inc.（現在はZF Friedrichshafen AGのグループ企業）より欧州及び北米におけるL&S（リンケージ アンド サスペンション）事業を譲り受けました。この度の事業譲受は基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」をさらに強化するものと位置付けています。

これにより、THKはさらなる成長に向けて力強く前進するものと確信するとともに、ボールジョイントの分野でも世界No.1のメーカーとなることを目指していきます。



今回の事業譲受の目的は大きく分けて以下の5つとなります。

- ・ 欧州と北米の事業基盤の取得による地域面、顧客面の拡大
- ・ 開発拠点の取得による自動車部品における開発力の強化
- ・ 事業基盤の強化による新興国市場の拡大
- ・ 従来手掛けていなかった商用車事業の拡大
- ・ THKの生産技術基盤との融合による収益性の向上

このように、グローバルレベルでの自動車足回り部品の開発、生産、販売などの全ての競争力を強化することにより、グループとしてさらなる事業機会を獲得できるものと考えています。さらに、THKが持つ直動コア技術、THKリズムが持つ自動車部品製造技術、そして譲り受けた事業が持つ自動車部品の製造技術や開発力などを加えて、自動車の重要保安部品としてLMガイドをはじめとした直動製品の採用を拡大させるべく、研究開発をさらに積極化させてまいります。

譲受事業の経営成績と資産

1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH	1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE CZECH a.s.	1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED	1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE CANADA LIMITED
2 ドイツ クレフェルト・ゲレップ	2 チェコ ダチーチェ	2 カナダ セントキャサリンズ	2 カナダ ティルソンバーグ
3 製造	3 製造、研究開発	3 グローバルL&S事業本社 製造・研究開発	3 製造

PLANT 1 PLANT 2

1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbH	1 THK RHYTHM AUTOMOTIVE MICHIGAN CORPORATION
2 ドイツ デュッセルドルフ	2 アメリカ ポートランド
3 グローバルテックセンター 研究開発	3 製造、研究開発

2014年12月期

売上高	550百万米ドル
利息控除前税引前利益	39百万米ドル
総資産	180百万米ドル

地域別売上構成

用途別売上構成

1 社名
2 所在地
3 主な機能

Topics

■高速ローラーリング RHB/RHE形 **NEW**



「RHB/RHE」は新たに開発した高速ローラーリングです。転動体（ローラー）の接触構造を改良し、高速回転で安定した連続運転を実現しました。工作機械のテーブルに要求される高剛性・高精度を保ちつつ、高速回転を実現することが可能となります。

■ボールリテーナ入り高速コンパクトボールねじ SDA-V形 **NEW**



「SDA-V」はボール循環方式を改良した、DIN規格*対応のコンパクトかつ高速タイプのボールねじです。ナット長さを抑え、さらなるコンパクト化を実現しました。

欧州市場はDIN規格対応ボールねじが市場標準となっており、中国市場においてもDIN規格の占める割合が大きくなっております。THKはDIN規格対応ボールねじを拡充することでさらなるシェア拡大を進めてまいります。

*DIN規格とは、ドイツ規格協会が制定するドイツ工業規格（Deutsche Industrie Normen）の略称です。

■免震ウェブサイト リニューアル



2015年4月1日にTHK免震ウェブサイトをリニューアルし、スマートフォンやタブレットからも閲覧しやすくなりました。

免震ウェブサイトは、THKの免震システムの特長や採用事例を写真や動画を交えてご紹介しております。加えて、サーバーや精密機器を地震の被害から守る「機器免震装置」のページでは企業のBCP（事業継続計画）の第一歩として、機器免震装置を使った地震対策をご紹介しております。

免震システムにご興味をお持ちの方、導入を検討される方は、ぜひ一度ご覧ください。

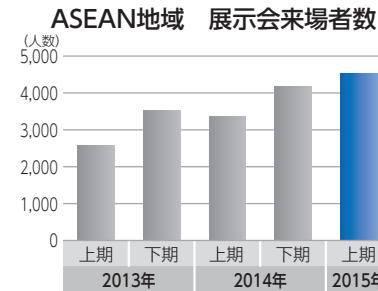
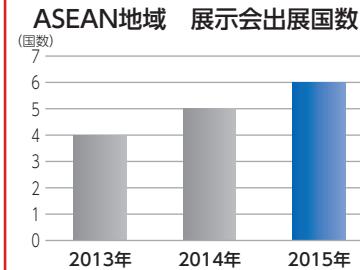
Topics

■ASEAN地域における展示会への積極的な出展

THKは、売上高の拡大に向けて、グローバルな販売網の拡充に努めるとともに、積極的に展示会へ出展をしております。

ASEAN地域は、中国やインドといった巨大なマーケットに近く、所得水準の向上により高品質な製品が求められるようになってきていることから、FA関連の需要は着実に拡大しております。そのような中、THKはシンガポールやフィリピン、マレーシア、タイなどの展示会に出展し、2015年度上期は約4,500人のお客様にご来場いただきました。

THKは引き続き、ASEAN地域をはじめとする新興国において、展示会へ積極的に出展することにより、THK製品を紹介する機会を増やし、売上高の拡大に努めてまいります。



■インド市場の開拓

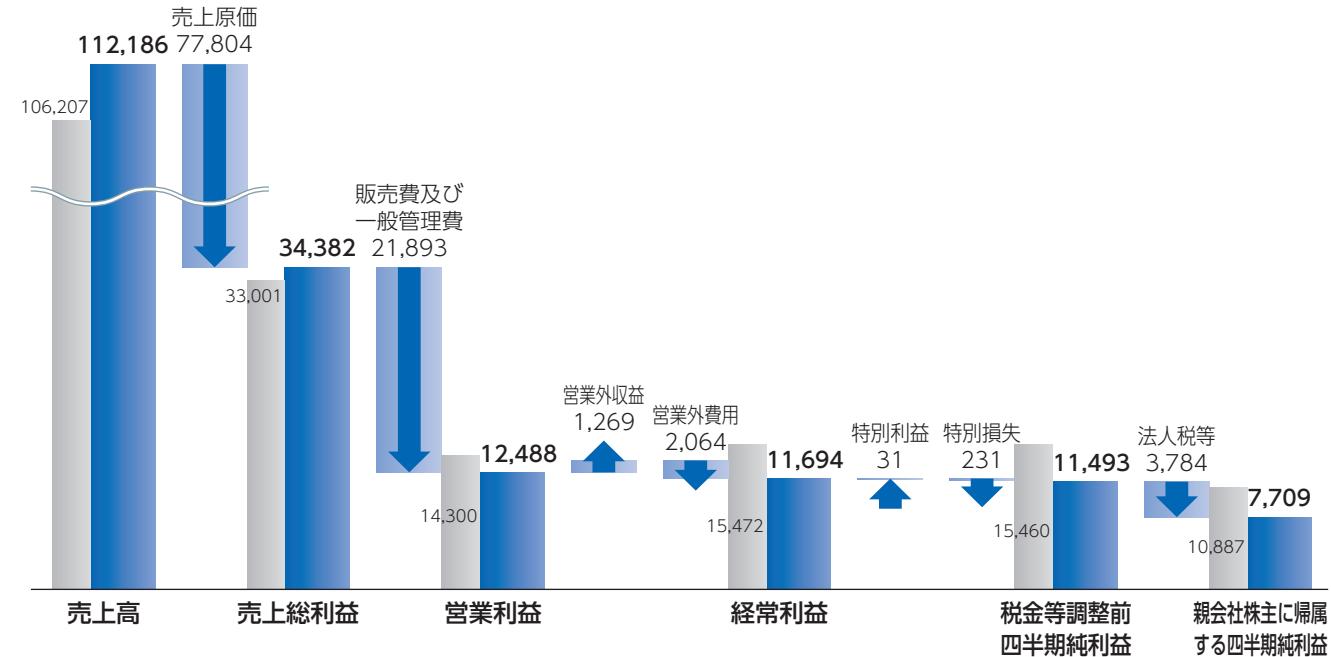
THKは、インド市場の開拓を加速すべく2012年にバンガロールに販売会社であるTHK India Private Limited 及び販売拠点を設立しました。それ以降、2014年にはプネ、2015年にはアーメダバード、チェンナイ、デリーに販売拠点を新設するなど、2015年10月末時点で5拠点と順調に販売網を拡充させています。高い経済成長率を維持し、今後は市場の拡大が期待できるインドにおける需要を着実に取り込んでまいります。



四半期連結財務諸表 (要旨)

■ 四半期連結損益計算書

■ 当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日) (単位: 百万円)
■ 前第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日～2014年9月30日)



売上高

国内では小型工作機械向けやエレクトロニクス関連の需要が減少した一方、海外では各地域において需要は概ね堅調に推移しました。それらの結果、連結売上高は前年同期に比べて59億円 (5.6%) 増加し1,121億円となりました。

営業利益

売上高が増加する中でも各種費用の抑制や業務の効率化に努めた一方、将来の成長に向けた投資に伴う固定費の増加や、事業譲受に伴う取得関連費用の発生などにより、営業利益は前年同期に比べて18億円 (12.7%) 減少し124億円となりました。

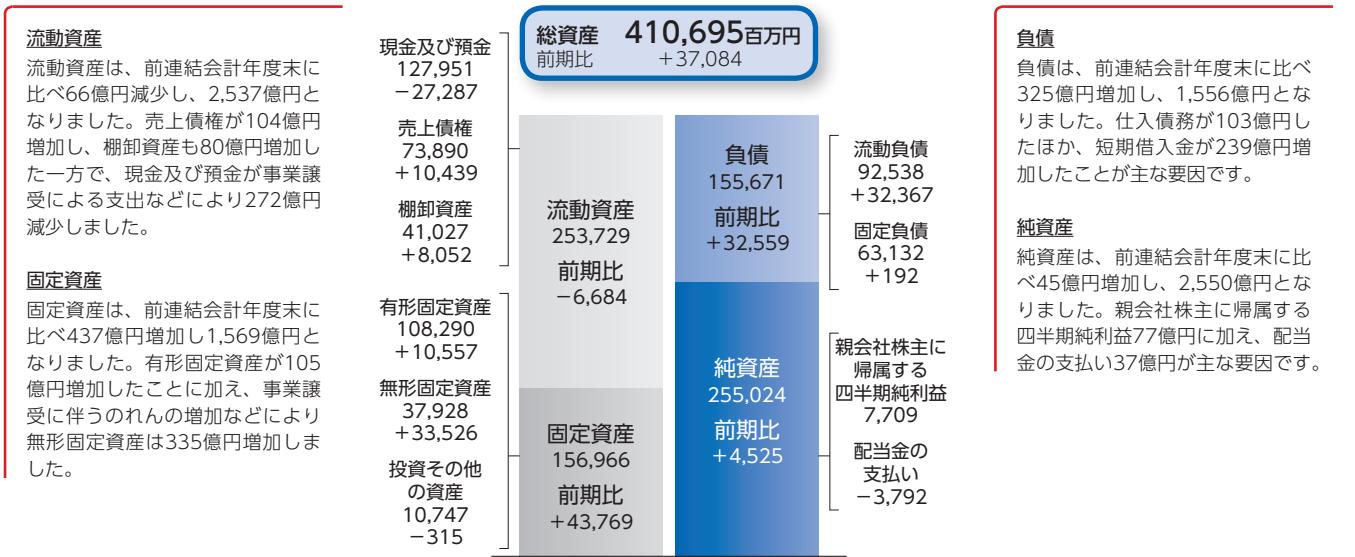
経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

営業外損益では、営業外収益は、持分法による投資利益が3億円となったことに加え、受取利息が2億円となったことなどにより、12億円となりました。営業外費用は、為替差損が15億円となったことに加え、支払利息が1億円となったことなどにより、20億円となりました。これらの結果、経常利益は前年同期に比べて37億円 (24.4%) 減少し116億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億円 (29.2%) 減少し77億円となりました。

※当社グループは、2015年8月31日にTRW Automotive Inc.の欧州及び北米のL&S (リンケージ アンド サスペンション) 事業を譲り受けました。第46期第2四半期は貸借対照表のみを連結しており、連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

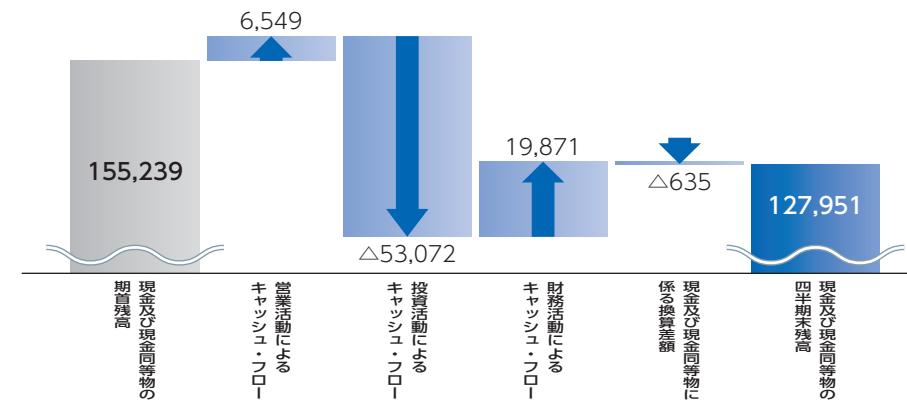
■ 四半期連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日現在) (単位: 百万円)



■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日) (単位: 百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益114億円、減価償却費59億円、為替差損14億円、棚卸資産の増加41億円、法人税等の支払額75億円などにより、65億円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に事業譲受に伴う支出や固定資産の取得により、530億円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に事業譲受の支払いに向けた短期借入による収入により198億円のキャッシュ・インとなりました。そのほか、換算差額により、四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて272億円減少し、1,279億円となりました。

次世代産業用ロボットショールーム「リソカタ」を開設

2015年4月6日に当社グループ会社であるTHKインテックス株式会社（以下、THKインテックス）は、カワダロボティクス製ヒト型双腕ロボットNEXTAGE®と、それを用いた生産工程の自動化提案を目的としたショールーム「リソカタ」を開設いたしました。

NEXTAGE®は人と共存し、協働することをコンセプトに開発されたロボットです。現在、日本は少子高齢化の時代を迎え、ものづくりの分野においても人手不足の課題に直面しつつある中、NEXTAGE®が人の単純な繰り返し作業を代替することで、人には工程管理などの付加価値を生み出す作業に専念してもらうことが期待できます。

THKインテックスは、これまでに工作機械や自動精密測定装置などの開発・製造・販売に従事し、お客様の多種多様な生産工程の自動化課題にお応えしてまいりました。

この度、NEXTAGE®の持つ特徴や機能を最大限に引き出す豊富なオプション機能やそれらを使用したエンジニアリングサービスをより多くのお客様へご紹介するため、常設のショールームを開設いたしました。

このショールームを拠点として、「理想のカタチを、それ以上のカタチに。」（略して「リソカタ」）をコンセプトに、今後もさまざまな生産工程の自動化を提案し、日本のものづくりに貢献してまいります。

理想のカタチを、
それ以上のカタチに。

NEXTAGE Works
Side by Side
With People



生産現場の様子



**セーフティ
レーザースキャナキット**

NEXTAGE®が人に接近した時に、一旦停止をかける安全センサです。同一の生産行程で人がロボットとともに安全に作業を行うことが可能となります。

センサが侵入を検知すると一旦停止 センサエリアから離れたら再稼働指令

AGVユニット

任意ルート、エリアを配線レスで移動でき、場所を選ばず、さまざまな環境の生産現場で使用が可能となります。

THKインテックス ショールーム「リソカタ」
所在地：愛知県名古屋市中区錦2-18-5 白川第六ビル1階
営業日：月曜日～金曜日（祝日除く）10：00～18：00
THKインテックス株式会社
URL：http://www.thkintechs.co.jp/



会社の概要 (2015年9月30日現在)

■会社概要

商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年（昭和46年）4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,415名（THKグループ12,119名）
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	http://www.thk.com/
会計監査人	太陽有限責任監査法人

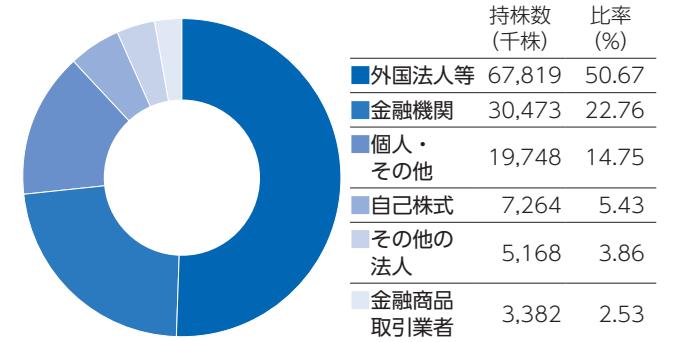
■役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	寺町 彰 博
取締役副社長	寺町 俊 博 今野 宏
取締役 兼 常務執行役員	榎 信 之 大久保 孝
取締役 兼 執行役員	坂井 淳 一 寺町 崇 史
社外取締役	甲斐 莊 正 晃 日置 政 克
常勤監査役	木内 秀 行 五十嵐 一 則
社外監査役	渡邊 静 夫 米 正 剛
(参考)	
常務執行役員	林田 哲 也 下牧 純 二 澤田 雅 人 星野 京 延 神戸 昭 彦 星出 薫 杉田 正 樹
執行役員	木下 直 樹 菅原 伸 昭 桑原 淳 一 山田 幸 男 伊藤 栄 村本 等 星野 恭 敏

■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	22,024名

■所有者別株式分布状況



■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,608	4.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,282	3.19
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,957	2.95
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,818	2.85
寺町彰博	3,646	2.72
エフティシー株式会社	2,774	2.07
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	2,373	1.77
THE BANK OF NEW YORK 132812	2,170	1.62
BNYM TREATY DTT 15	1,923	1.43
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,626	1.21

※上記のほか、当社が保有している自己株式7,264千株（5.42%）があります。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載 して行います。 http://www.thk.com/jp/ir/

株式に関するお手続きのご案内

<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ ● 株式事務に関する一般的なお知らせ 	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)</p> <p>※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel. 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/ からのダウンロード</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 上記以外のお手続き、ご照会等 	<p>口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。</p>

■株価の推移 (2011年4月1日～2015年9月30日)



■IR情報サイトのご紹介

THKは、ホームページ内「IR情報」を通じて投資家の皆様に対し積極的な情報開示に努めています。最新のプレスリリースや過去の決算情報のほか、年1回発行のアンニュアルレポートなど、投資家の皆様にお役に立つ情報を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

- ・「IR情報」のホームページアドレス <http://www.thk.com/jp/ir/>
- ・当社ホームページ 日本TOP ⇒IR情報

THK IR

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



THK株式会社